

参加
無料

こども・若者支援シンポジウム

不登校やひきこもり 見守り寄りそうだけでホントにいいの？

家庭や学校、職場で行き場を失い孤立する若者が、今後どう地域で生きていくのか？
そうならないように私たちは何を提供して成長を促すのか？
それぞれの人生に沿った支援について一緒に考えてみませんか。

11.2 2025 (日)
13:00～17:00

場 所

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル7階会議室1
※分科会は会議室1～3に分かれます。
(大阪府茨木市駅前三丁目9番45号)

基調講演

玄田 有史 氏

(東京大学 執行役・副学長)

「挫折から希望が生まれる

～そのときに大人ができること～」

1964年生まれ。東京大学経済学部卒業後、ハーバード大学客員研究員等を経て、現在に至る。2001年に出版した「仕事のなかの曖昧な不安」でサントリー学芸賞等を受賞。「ニート」という言葉を世に広める。



分科会

1～3のテーマの中から興味のあるものに分かれて、様々な経験を積んだ講師から話を聞き、一緒に考えます。
(詳細は裏面参照)

スケジュール

13:00	開会のあいさつ
13:15	基調講演
14:15	休憩(分科会移動)
14:30	分科会
16:00	休憩(会場移動)
16:15	総括・まとめ
17:00	終了

分科会の詳細は
裏面にて

対 象

こども・若者(おおむね中学生～39歳)とその保護者、
こども・若者支援に携わっている支援者等

申 込

右図からオンラインで申込
(オンラインでの申込が難しい場合は下記問合せ先までご連絡ください。)

定 員

先着**100**名

主 催

NPO法人共同生活型自立支援機構、茨木市

問合せ先

茨木市こども育成部こども政策課

電話 : 072-620-1625

メール : kodomoseisaku@city.ibaraki.lg.jp

申込はこちらから



1.学校から就労まで「地続きの支援」を考える

多様な困難課題がある生徒が増える中、学校が取り組むべき教育とは？
若者の採用育成に取り組む企業現場では何が起きているか？
学校から就労への移行期支援に求められることは？
若者たちの社会的自立に向けて課題と連帯のあり方を考えます。

講師

- ・ 今西 良介 氏
(府立桜塚高校定時制の課程 准校長)
- ・ 松本 晃幸 氏
(株式会社電建 代表取締役)
- ・ 白砂 明子 氏
(一般社団法人キャリアブリッジ 代表理事)

2.医療からみた学校教育機関と 労働機関との連携の在り方考える

医療や福祉の役割を支援者・当事者それぞれが共有できているか？
どういった状況の人を医療の受診・福祉サービスの利用へと誘導すべきなのか？
地域の様々な支援機関と医療や福祉機関との連携の在り方について考えます。

講師

- ・ 原 孝紀 氏
(フェルマータメンタルクリニック 精神保健福祉士)
- ・ 小林 将元 氏
(NPO法人クラウドナイン 理事長)

3.相談窓口と生活支援・共同生活型自立支援の 連携の在り方考える

ひきこもり対象者は適切な支援機関に誘導されているか？
各支援機関の役割と機能を関係従事者と共有できているか？
あらためて入り口から出口までの支援について、地域連携やそれぞれの役割と
機能を整理し支援のあり方について考えます。

講師

- ・ 河野 久忠 氏
(NPO法人東京青少年自立援助センター 理事長)
- ・ 石田 貴裕 氏
(NPO法人淡路プラッツ 代表)

11.2 2025
(日)
13:00～17:00

場 所

茨木市文化・子育て複合施設
おにクル7階会議室1
※分科会は会議室1～3に分かれます。
(大阪府茨木市駅前三丁目9番45号)